

平成20年度
一級建築施工管理技士
(実地試験)

問1、問2 解答参考例

問題1

あなたが経験した**建築工事**のうちから1つ選び、工事概要を記入した上で、**品質の良い建物を提供するために行った品質管理**について、次の問に答えなさい。

〔工事概要〕

- イ. 工事名
ロ. 工事場所
ハ. 工事の内容 (新築等の場合：建築用途、構造、階数、延べ面積又は施工数量
主な外部仕上げ、主要室の内部仕上げ)
(改修等の場合：建築用途、主な改修内容、施工数量又は建築規模)
ニ. 工期 (年号又は西暦で年月まで記入)
ホ. あなたの立場

概要については平成18年度と同じ設問形式なので省略致します。

『平成18年度実地試験解答参考例』及び『経験記述のポイントテクニック集』を御参照ください。

1. 工事概要であげた工事について、あなたが設計図書、施工図、施工要領書などから確認し、管理した**重要品質(建物の重要な性能)を2つあげ**、それぞれ次の①から③について具体的に記述しなさい。ただし、2つの重要品質に関する記述の内容は、それぞれ異なるものとする。

- ① 重要品質として採りあげた理由
- ② あなたが採りあげた重要品質に関する品質管理活動を行うにあたって、定めた管理項目とそれにかかる工種名、及びその管理項目を定めた理由
- ③ ②の管理項目をどのように管理したか。

解答1

重要品質 鉄骨製作での施工精度

- ①鉄骨は躯体として建物の強度に直接影響する為、その製作段階での施工精度は厳重に管理する必要があるが。
- ②・管理項目 摩擦接合部分
 - ・ 工種名 塗装工事
 - ・ 理由 柱と梁の継ぎ手は摩擦抵抗が必要な為、塗装の際の養生管理がそのまま摩擦抵抗に反映される為。
- ③摩擦抵抗には意図的に赤錆を発生させる必要があるが、対物検査の際にはその錆の度合いを厳重にチェックした。

解答2

重要品質 現場溶接

- ①溶接環境は溶接者の技量以上に構造強度に及ぼす影響が大きい為、その管理、判断には必要を喫した。
- ②・管理項目 気候条件
 - ・ 工種名 溶接工事
 - ・ 理由 溶接の際は、半自動炭酸ガスアーク溶接を使用するが、工場にはない制約がある為、工場以上に施工を管理する必要があるが。
- ③気温0度以下、湿度90%以下、風速2m/秒以上という環境の下では溶接を絶対に行わないよう管理した。

2. 工事概要にあげた工事にかかわらず、あなたの今日までの工事経験に照らして、次の①、②について簡潔に記述しなさい。

① 品質の良い建物を提供するためには、どのような施工を行うことが必要だと考えますか。

きちんとした工程や作業方法に則って各業者間の調整を図り、作業を円滑に進めていくことが必要。

② 品質の良い建物を提供することは、施工者にとってどのような意味を持つと考えますか。

社会的責任を果たし、結果として社会的信用・技術力の向上に繋がる事となる。

問題2

次の1. から3. について、使用中の安全点検事項をそれぞれ2つ具体的に記述しなさい。
ただし、保護帽、安全帯、保護具などの不着用、又は不安全な作業の防止など労働者の行為に関する記述は除くものとし、それぞれの安全点検事項は重複しないこと。

1. 外部枠組足場

- ・建枠、布枠等の緊結部及び接続部の緩みの有無。
- ・手摺の取り外し及び脱落の有無。

2. 建設用リフト

- ・ワイヤーロープの損傷の有無。
- ・ガイドレール及びリミッターなど電気系統の異常の有無。

3. 交流アーク溶接機

- ・キャップタイヤケーブルの熱による劣化及び損傷の有無。
- ・電防装置とアースの配線の状態。